

剰余金は7億円超

丹野会長再任、理事長に小野専務

総代会



石巻市河北総合センターで開かれた通常総代会

当組合は6月30日、本年度通常総代会を石巻市の河北総合センターで開催した。昨年度事業報告、本年度事業計画などの議案をいずれも原案通り可決、決定。昨年度はカキ販売の苦戦などで剰余金が平成27年度を約1億円下回る7億円超となった。役員は任期満了に伴い改選し、総会後の経営管理委員会が丹野一雄会長を再任、理事長に小野秀悦専務を指名した。（2面に「小野新理事長に聞く」「事業成績・財産・損益の状況」）

昨年度は、事業利益4億2100万円、経常利益5億5400万円、剰余金7億3200万円を計上。いずれも27年度を計上。下回ったが、剰余金は計画対比で5億2000万円の上振れ。年度末の自己資本比率は30・55%となり、27年度より1・74ポイント上昇した。

昨年度の販売事業は、養殖のノリ、ワカメ、ホタテ、ギンザケがそろって高値で推移し金額が伸びた。カキが厳しく、盛漁期のノロウイルスまん延に伴う出荷の一斉休止、マスコミ報道による風評被害もあり、出荷量が減少、価格が下落。ホヤは大震災前を超える約1万3200トの生産、国内消費も過去最高の約5600トと増えたが、韓国の輸入禁止措置で販売できなかった約7600トをやむを得ず焼却処分した。

購買事業は、好調な浅海品販売に伴う資材の伸長もあり計画を超える取扱高。信用事業は、全体的には低金利による落ち込みはあったが、多岐にわたる貯蓄推進運動や高台移転による住宅資金の取り込みなどを積極的に展開した。

これら事業の好収益に加え事業管理費の削減が事業利益を押し上げた。しかし、組合員は減少が続き、年度末で27年より329人減り8879人となった。正組合員は27年の3565人から210人増加したものの740人減り3035人。准組合員は201人増え5844人で、正組合員からの移行もあった。一方、本年度の事業計画では、基本方針を「本県漁業の持続可能な発展を図ることが最重要課題」とした。

当組合の新役員の顔ぶれ

【経営管理委員会】

会 長	丹野一雄	再	石巻湾支所運営委員長
副会長	松本洋一	新	気仙沼地区支所運営委員長
	佐々木憲雄	再	志津川支所運営委員長
	阿部彰喜	再	女川町支所運営委員長
	畠山政則	再	唐桑支所運営委員長
	木村千之	再	表浜支所運営委員長
	仙石和男	再	鳴瀬支所運営委員長
	高橋一郎	再	歌津支所運営委員長
	高橋幸彦	再	松島支所運営委員長
	佐藤栄記	新	北上町十三浜支所運営委員長
	寺沢春彦	新	七ヶ浜支所運営委員長
	菊地幹彦	新	仙南支所(亘理)運営委員長
	佐藤達哉	新	員 外

【監 事】

代表監事	伏見眞司	再	石巻地区支所運営委員長
	芳賀勝壽	新	大谷本吉支所運営委員長
	鈴木政志	新	七ヶ浜支所運営委員会副委員長
常勤監事	武田 功	新	員 外

【理 事】

理事長	小野秀悦	新	(前専務理事)
専 務	阿部 誠	新	(前理事)
	鈴木文昭	再	指導総務・南部地区担当
	内海哲夫	新	信用共済・北部地区担当
	菊地 清	新	経済事業・中部地区担当

主要な取り組みとして「宮城県産水産物のブランド力強化等を通じた直販の拡充および輸出等による販路拡大を主とした販売力強化」などを挙げる。事業企画部門では、殻付カキの販路拡大に向けた積極的提案、ホヤ需要拡大に向けた計画策定、キッチンカー活用によるPRイベント企画などを重点とする。

阿部力太郎氏に栄誉

旭日単光章、功績に光

本年度春の叙勲で、当組合元理事長の阿部力太郎氏が旭日単光章の栄誉を受けた。合併後の初代理事長として、礎となる経営基盤の強化にリーダーシップを発揮、東日本大震災では生活と漁業の再

併、当組合発足では、中部地区組合長会長として説得、合意形成に尽くした。初代理事長に就任後は、組合業務の統一化による管理経費削減などで財務基盤の強化に力を発揮。組合発足時の16億円近い繰越欠損金を大震災前の平成21年度末に7億円弱まで減らした。

大震災では、組合内に「復興対策本部」を設置し、復興計画立案などで組合員に生活再建や漁業再開に向けた方針を示す一方、国などに対し要望活動に奔走した。組合員をサポートするには当組合の資本増強が不可欠とみて「信用事業計画」の策定を進め、JFマリンバンク支援協会による66億8千万円の優先出資を実現。復旧、補助事業を推進進めるとともに、当組合の経営再建にも多大な貢献をした。

石巻市東部漁協の理事、組合長時代は、同漁協漁業研究会の豊島富美志会長がカキ養殖施設の「プランコ方式」を考案、発表すると、これを推進、普及させた。延縄式を改良して動揺を緩和、落下を抑える方式で、波浪などの影響で困難とされていた沖合漁場の利用が県内に広がった。



丹野一雄会長

●総代会あいさつ 平成28年度の組合収支は、計画を上回る7億円を超える当期剰余金を計上できました。ひとえに組合員の皆さまのご尽力、ご協力

●2期目の抱負 優先出資の返済が最優先。29年度の事業で剰余金が出れば来年の総代会で了承してもらい段取りする。災害などがなくこのまま順調に生産できれば十分返済できる見通し。

来年にも優先出資返済 理事会制移行にも意欲

健全な組合運営を目指す。それには経営基盤強化のための出資金対策が必要で、昨年度からお願いしている正組合員の増資運動について、5

この任期中に、経営管理委員会制から合併前のような理事会制に戻したいと考えている。当初から理事会制を求める声があり、いまもブロック会議などで続いているが、優先出資もあつて進められなかった。返済し、総代会で賛否を問いたい。

組合員の中には、自分たちが選んだ浜の代表が理事となって組合の運営と経営に直接携わればよい意見が反映されやすくなる、と思っている人もいます。宮城のあとに全国の数カ所所単協ができていくが、経営管理委員会制をとったところはない。



叙勲祝賀会で贈られた花束を胸に笑顔を見せる阿部力太郎氏(5月、石巻市)

阿部力太郎氏の略歴

昭和37年	宮城県立水産高等学校 卒業
昭和37～45年	株式会社大洋漁業 勤務
45年～現在	漁業に従事
平成6～9年	石巻市東部漁業協同組合理事
9～19年	同 代表理事組合長
9～16年	宮城県小型漁船漁業振興協議会副会長
9～26年	宮城県漁船海難防止協議会副会長
11～19年	宮城県漁業協同組合連合会代表監事
11～19年	宮城県中部地区漁業協同組合長会長
11～26年	宮城県漁船保険組合総代
16～18年	宮城県小型漁船漁業振興協議会会長
19～26年	宮城県漁業協同組合代表理事理事長
平成19～26年	宮城県海産物調整委員会委員
23～26年	宮城沿岸漁業復興連絡会議構成員
平成18年	石巻市長表彰
21年	全国漁業協同組合連合会会長表彰
24年	宮城県知事表彰
25年	大日本水産会会長表彰

カキでは後に、同漁協の共同処理場に最先端技術の膜ろ過を利用した殺菌海水を導入し、むき身の安全性と品質を向上。他地区に先駆けた水揚げ額からの天引き貯金や共済加入の推進でも知られる。実績は後継者の誕生、育成にもつながった。

当該事業年度および直前3事業年度の事業成績ならびに財産および損益の状況
(28年度事業報告から。単位：千円)

区 分	項 目	25年度	26年度	27年度	28年度(当期)
財 務	事業利益	511,749	940,036	556,722	420,950
	経常利益	657,820	1,121,887	811,000	553,919
	当期剰余金	785,933	1,421,218	834,958	732,020
	総 資 産	113,218,974	108,730,833	109,880,892	109,420,087
	純 資 産	9,425,269	10,762,365	11,447,630	12,123,453
	単体自己資本比率	22.76%	26.46%	28.81%	30.55%
信用事業	貯 金	94,146,996	91,021,051	92,721,165	92,263,263
	預 け 金	76,286,699	77,310,069	80,440,457	82,880,638
	貸 出 金	26,001,556	19,758,126	16,854,709	15,284,635
共済事業	長期共済保有高	79,989,000	76,376,202	72,957,588	68,660,320
	短期共済契約高	36,409,030	38,175,120	43,468,430	48,678,730
購買事業	石油類供給高	5,245,339	3,861,196	2,963,584	2,757,413
	資材類供給高	8,269,389	6,834,497	6,304,287	5,993,511
販売事業	受託販売取扱高	21,464,205	28,757,996	30,413,609	32,567,771
	買取販売高	2,332,638	2,082,849	2,242,281	2,165,932



将来的には組合の経

「選ばれたからには進める」 組合を盤石な体制に 事業運営の見直しも

小野秀悦新理事長に聞く

当組合の代表理事理事
長に就任した小野秀悦氏
に聞いた。

——理事長就任の感
想、抱負は。

小野秀悦理事長 大役
と感じている。

平成29年度事業終了後
の来月7月、JFマリン
バンク支援協会と県の優
先出資合せて71億8千
万円を返済できるよう、
これから1年間頑張ら
ないといけない。事業運
営の見直しも出てく
る。組合を盤石な体制
にするにはどうしてい
けばよいのか、選ばれ
たからにはそれを考
え進めていく。

営体制の見直しも出てく
る。経営に携わっている
人の年齢が上がってきて
いる。

——養殖種目で考えて
いることは。

小野理事長 ギンザケ
は「みやぎサーモン」で
国のGI(地理的表示
保護制度)に登録でき
たので良い機会と捉
え、今年のような高い
単価を維持できるよう
に進めたい。高品質に
作ってもらうことも大事
になる。

ホヤは、今年は水揚げ
が少なくなりそうだが、
国内販売を強化しないと
いけない。韓国に禁輸解

除の要請活動を続けてい
くが、韓国に出さなくて
も消費できるように持っ
ていきたい。

◇ 小野氏は65歳。北海道
大学水産学部を卒業し宮
行。

活動模索も時間ネット 漁期が一因、期待は新部員

塩釜市浦戸支所青年部

浦戸諸島・桂島の塩釜
市浦戸支所青年部。部員
の7人全員がノリ養殖を
する。千葉卓部長は「部
員の顔ぶれは若いのに昔
のようにはいかなくなっ
た。

浦戸支所青年部。部員
の7人全員がノリ養殖を
する。千葉卓部長は「部
員の顔ぶれは若いのに昔
のようにはいかなくなっ
た。



塩釜市浦戸支所青年部。右から、前列が阿部義隆副部長・千葉卓部長・内海修一さん・同支所青年部担当の鈴木洵主任、後列は千葉周さん・内海景太さん・内海洋倫さん



ければならず、オフィー
ズが短くなった。父が経営
を握っていた以前なら仕
事を抜け出せたが、いま
は自分が抜けられ休めと
なり他の人の仕事に止ま
ってしま
う。この二
つの相乗も
あり、自由
に活動でき
る時間が限られる。
「自分たちで時間を作
り足並みをそろえて集ま
るのは難しい」と千葉部
長。「青年部のあり方を
考えていかないとけな
い」とも思う。

に負担がかからないよう
にしないと、(活動して
も)続けられない。途中
で手をかけられなくな
る」といい切る。時間の
制約が足かせだ。
1年に2日、部員が一
体となりチームワークを
発揮する。

8月13日の地元の祭
り。青年部が実行委員会
の一翼を担い、担当を決
めてかき氷や飲み物を販
売したり、音楽を流して
放送を手伝ったりする。
観光客も訪れ、盆踊りや
花火大会を楽しむ島の
一大イベントだ。

もう1日は、8月末ご
ろの「潮位標」の調整。
大震災後、養殖漁場の地
盤が沈下して不安定とな
る「潮位標」の調整

協同組合論

北海学園大学経済学部教授
濱田 武士

9



格差社会、協同組合運動に光

世界的に協同組合の運
動が見直されています。
国連が定める国際年とし
て2012年は国際協同
組合年になりました。格
差社会が世界各国の中で
拡大するゆえに、その処
方箋の一つとして協同組
合運動が大切にされたの
です。また、
昨日11月30
日、「協同組
合において共通の利益を
形にする」という思想と美
「実践」がユネスコ無形文化
遺産に登録されました。
しかしその一方で、日
本の協同組合連合は苦境
に立たされています。例
えば、農協から信用・共
済を分離分割せよ、とい
さらに、農業の衰退は

う政財界からの提言が続
いていることです。「協
同組合は、非営利法人で
あるが故に税率が会社よ
りも軽減されている。に
もかわらず、JAは非
農民を准組合員にしてJ
Aバンク、JA共済を拡
大させて民業を圧迫して
います。信用・共済を分離
分割して会社と同じ条件
で競争すべきだ」という
もの。農協の信用・
共済事業が農協法改正に
よって分離分割となれ
ば、JFグループも分離
分割となるでしょう。

J Aの責任だとして農協
改革が進められ、農協法
が改正されるに至りまし
た。しかも、協同組合の
ユネスコ無形文化遺産登
録の前日に政府提案の
「農業競争力強化プログ
ラム」が決まり、J Aの
系統事業の方針に政府が
介入しています。もうか
る農業に改革させるとい
うのがその狙い。現段階
ではJFグループにこの
状況が及んでいないが、
内閣府に設置されている
規制改革推進会議におい
ては長続きせず、すでに
撤

は、世界では水産業が成
長産業なのに日本では衰
退産業だとして制度改革
を進めるべきという議論
がスタートしました。
今年度、水産業界を取
り巻く情勢は変わってい
ます。もしこれらの動き
が漁業の発展を促すもの
ならば、漁
民も、水産
関連業者
も、歓迎するでしょう。
しかし、それが政治主
導の改革ならば警戒が必
要です。大分県や石川県
では、かつて県知事主導
で企業参入を進めまし
た。魚類養殖業におい
て、その後の失敗は枚
を数えきれないほどあり
ます。その失敗は、改革
の功績者として財界
やマスコミからたたえら
れますが、その後失敗し
ても為政者はとがめられ
ることもなく、ただただ失
敗のしわ寄せを地元がか
ぶる、というものです。
農業も、漁業も、改革
は現場からでないと成功
は長続きせず、すでに撤

は、世界では水産業が成
長産業なのに日本では衰
退産業だとして制度改革
を進めるべきという議論
がスタートしました。
今年度、水産業界を取
り巻く情勢は変わってい
ます。もしこれらの動き
が漁業の発展を促すもの
ならば、漁
民も、水産
関連業者
も、歓迎するでしょう。
しかし、それが政治主
導の改革ならば警戒が必
要です。大分県や石川県
では、かつて県知事主導
で企業参入を進めまし
た。魚類養殖業におい
て、その後の失敗は枚
を数えきれないほどあり
ます。その失敗は、改革
の功績者として財界
やマスコミからたたえら
れますが、その後失敗し
ても為政者はとがめられ
ることもなく、ただただ失
敗のしわ寄せを地元がか
ぶる、というものです。
農業も、漁業も、改革
は現場からでないと成功
は長続きせず、すでに撤

しない私は考えていま
す。行政支援の必要性は
否定しませんが、漁船に
乗り漁労作業をしたこと
がないなど、現場に精通
していない識者のアイデ
アほど危険なものはない
かもしれません。せいぜい、海外
の事例をつまみ食いして
押しつける程度です。
漁協は浜あつての組織
です。その浜は「共通の
利益を形にする」という
遺産を持っています。
それがユネスコ無形文化
遺産としてたたえられて
いるのです。今浜は世代
交代が進み新しい局面に
入っています。温故知新
の精神で未来の浜の在り
方を考えてみませんか。

り毎年のように高さが変
わるため、基準となる県
設置の潮位標から潮の高
低差を部員が測定してほ
かの部員に連絡。情報に
従って各漁場の潮位標と
なる杭に板を釘付けして
高低差を合わせ、ノリ網
を張り込む時の高さの目
安にする。

大事な活動だが、千葉
部長は「本業(ノリ養
殖)」と青年部活動の境目
がなくなっている。青年
部単体の活動をなかなか
見いだせない」という。
震災前の活動にはアサ
リ漁場の造成やアワビの
畜養もあった。
アサリは青年部員4人
の浦戸アサリ試験研究
会が再開。会長の内海景
太部長は「震災で青年部
が機能しなくなり、グル
ープでやれることからや
ろ」とまとめた。と振り返
る。白崎浜で、粉砕した
カキ殻に天然稚苗を付着
させ、稚貝を採取してネ
ットで囲んだ施設で育
生。結果が出て、今季が
2年目の出荷となった。
青年部に新しい部員が
誕生しそうなのが嬉しい
ニュース。新規漁業就業
者を育成する塩釜市の事
業で、総務省の「地域お
こし協力隊」の支援を活
用し参加していた一人が
研修を終えた。桂島に住
み、ノリ養殖協会の従
業員になった。青年部は
次の会合で、新部員とし
て迎え入れるつもりだ。
研修中で、部員がさらに
増えると期待される。

組合からのお知らせ

信用共済部

「くらし」補償を拡充
要望に応え自然災害に力

7月からの「くらし」制度改正内容

①支払要件・内容の拡充

- 風・ひょう・雪災による支払要件●
20万円以上の損害→3万円以上の損害
- 水害による支払共済金●
全損時の縮小割合→損害割合×30%以上または床上浸水の場合、損害額の全額
- 地震による損害の支払共済金●
全損：共済金額×25%→共済金額×30%
半損：共済金額×10%→大半損：共済金額×20%、小半損：共済金額×10%

②引受等にかかる諸変更

新しい「くらし」50型
掛金負担の軽減
建物の引受限度額
4000万円→1億円

③共済掛金率の見直し

補償内容充実のために、
掛金率・新契約費を見直す

④切替制度の見直し

キャッシュレスで
最新補償への切替

JF共済では、「自然災害補償の拡充」等についての要望に応えるため、今年7月から生活総合共済「くらし」の制度改正を実施します。改正事項は①支払要件・内容の拡充②引受等にかかる諸変更③共済掛金率の見直し④切替制度の見直しの4点

このほか補償内容を拡充するために共済掛金率を見直し、契約の切り替えに際しても特則をもつて対応します。詳細はチラシを参照、また窓口にお気軽にお問い合わせください。

江刺みゆき会長再任

女性連通常総会

当組合女性部連絡協議会は5月23日、大崎市の鳴子観光ホテルで通常総会を開き、平成28年度事業報告、29年度事業計画について承認しました。



江刺みゆき会長

役員は任期満了に伴い改選。江刺みゆき会長（石巻地区支所）と三浦弘子（歌津支所）、内海やゑ子（塩釜市浦戸東部支所）両副会長が再選されました。

と活性化」を目標に、漁協女性部幹部のつどいを開催。リーダーとしての資質向上や交流を図りました。またアクセサリー販売活動も継続実施。さらに「水産物の消費拡大」のために、各女性部が地域のイベント等で販売や料理教室など魚食普及に努めました。

「健康なくらしと環境保全運動の推進」では、イベント等で天然石けん「わかしお」の広報普及に努めました。「漁協全利用と生活設計の推進」では、冠婚葬祭の簡素化を図るためお返し廃止用「のし袋」の斡旋のほか、家計簿を頒布。貯蓄推進活動や共済・購販売事業全利用の促進、各種年金や公共料金の窓口利用推進にも努めました。

本年度も、部員数の年々減少という課題を抱えながらも「子供たちの未来につなげよう、みやぎの美しい海・豊かな恵み」をテーマに多岐の活動をしていきます。

役員改選では、北部地区の委員に志津川支所の小山れえ子氏が新任、ほかは再任となります。任

みやぎサーモンにGI
知名度、消費拡大の一助に

組合員が生産する養殖ギンザケの活じめ「みやぎサーモン」が5月、国の地理的表示保護制度（GI）に登録された。本県では初、全国の水産物では3例目となる。盛漁期に間に合い、出荷でのGIマーク添付が知名度向上や消費拡大、価格安定の一助となっている。

生産者団体などで構成するみやぎ銀さけ振興協議会（会長・小野秀悦当組合理事長）が登録を申請していた。

活じめと神経じめが対象で、刺身がオススメ。さっぱりとした脂乗り、甘みとうま味の豊かさが特長だ。今季はギンザケ生産計画（1万2500ト）の3割程度となる約4千トの出荷が見込まれる。

GI保護制度は、農林水産省が平成27年度から運用を開始した。地域で長年培われてきた生産方法や気候・風土などの特性により高い品質と評価される産品の名称を知的財産として保護する。水産物では下関のフグ、青森県十三湖のシジミに次ぐ認証。

出雲浩行さん（52）は、乗子として一緒に船上でアカガイけた引に着業。仙南支所閉上地区の運営委員長を務める。7、8月の禁漁期以外はJFよし丸（4・9ト）で早朝から海に出る。休漁期と、毎日午後から

は、乗子として一緒に船に乗る人の自動車整備工場やアルバイトをするという、ユニークな主従交換生活を送っている。高校卒業後5年ほどして、アルバイト先が倒産したことをきっかけに家

の乗子として手伝い、父が体調を崩したのを契機に一人で貝けたもすることになった。「閉上赤貝は、先輩方ががんばってくれたおかげで全国的に有名な高級食材となった。その名前

やない。タイミングをみてやっていきたい」。震災前はアカガイの船が30隻、コタマガイや遊漁船も入れ港に80隻くらい船があつたという。それがほぼ全て流され、家

げばいい。なんとかなつて。なら俺も俺もと続く人たちが出てきた。補助も6分の5になり、11隻が新造した。翌春から新船での再開

が次々と始まり、出雲さんは一番最後。「丸2年遅れたね」。先にできた人の船に乗り、がれき撤去などもしながら助け合っ

て乗り切った。「今われわれが仕事できるのは、補助金などがあつてこそ。国、県、関係各市町村の支援には感謝しきれないと皆思っている」。そして「漁師は

海に行つて魚捕つてくれた。あの状況を見ると考えることが多々あるね」。現在、震災後に建てた家で母と妻、社会人の娘、大学生の息子と5人暮らし。「娘も息子もうち大好きで、なかなか出ていかない。俺があそこは、寄り付かなかったけど、そう言いたげだなあ」そう言いながらもちよと嬉しそう

閉上赤貝の名を守りつなげる



に戻った。父がアカガイをやりに、長男だったのて、いつかは漁業をするという意識はなんとなくあつたが、父からは一言も言われたことはなかった。最初は父の漁師仲間

を守っていくのがわれわれの仕事。もう一歩ステップアップ、例えば商標登録や地理的表示の取得なども考えているが、なかなかハードルが高い。「でも諦めたわけじ

ら持つてくるの？」「稼

おふくろ3人ぎりぎり

が全クリするという。

た。

た。

仙南支所・出雲浩行さん



2島の力キと漁船漁業を守る



浦戸支部支所は、寒風沢島、朴島を管轄。力キと種ガキを中心に、漁船漁業でカレイ、ヒラメ、タラ、シラウオなどを捕っている。ノリ養殖もしていたが震災で着業者がいなくなった。

甘くしまった力キ

高城川と鳴瀬川が注ぐプランクトン豊富な松島

内海光雄運営委員長



山形一夫支所長



浦で、良質の力キが採れる。むき身生食を主に出荷。松島湾のなかでも外洋に近く、波にもまれてるので菌心配があり、きりつとした味が甘いのが特長。

自然災害を乗り越え

昨年8月末の大型台風で沖の身がき筏の7割弱が被害を受けた。なんとか資材をかき集め、半分ほどのかき筏を復旧したが、力キそのものの落下もあり、収量は上がらない。それでも思ってたよりは出荷できたという。

悩みは後継者と高齢

震災では、2つあったかき処理場が損壊した。塩釜市浦戸支所の処理場を使わせてもらい、この年に3人がむいて78

資源を生かすために

震災前にはトン単位で採れていたアサリが、今は激減。手をこまねいているわけにもいかない。アサリの漁場造成に今年から着手している。

また、近年アカモク（ギバサ）が注目されるようになった。漁業のじやまで誰も見向きもしなかった厄介者が、採取し出荷すると、結構な収入となっている。アサリの次には、アワ

ビやウニのことも考えていきたいと山形支所長は話す。アワビもウニも震災前までは立派なものが多く採れていた。アワビの買い受け業者が今は1社だけになってしまい、蓄養して販売しているのが出荷までに何割かが死んでしまうのが悩みの種。ウニは若干採れるが扱う業者は現在はいない。

県の栽培漁業センターでアワビの採苗が本格化すれば稚員の供給も軌道に乗るだろうと期待する。出荷サイズまで育つのに時間はかかるし、高齢化で採る人も減ってきたが、貴重な資源を生かす方法をこれからも模索していく。

塩釜市浦戸支部

支所を訪ねて

唐桑

畠山政則運営委員長



吉川弘支所長



品質を何より重視

力キは付着の薄い種を使い、温湯処理はもうろく、耳つりも行う。ワカメやホタテも手間をかけて育てる。その結果、ふつくらとして熱を加えて

唐桑支所 組合員数 893 人、うち准 676 人。職員は臨時含め 9 人。販売取扱は 9 億 5500 万円。うち約 3 割がホタテ、2 割がワカメ。カキやホヤでも知られる。地区住民の 8 割が漁業・水産業に携わっている。



唐桑は海岸線が入り組み、入り江は一気に深くなる。荒々しい半島東部と穏やかな西部、両面をそろえ持ち、カキ、ホタテ、ワカメをそれぞれ適所で養殖し高い評価を得る。「とくに若手が、品質のいいものを作らないと生き残れないという危機感をもつてやっている。すごく頼もしい」と

畠山政則運営委員長。小型漁船はイサダ漁や、沖合の突きん棒漁業、刺網やカゴなども盛んだ。

も縮まない大粒のカキ、貝柱が太く甘みが強いホタテ、しゃきしゃきとした肉厚のワカメができる。「手間暇が評価されるような売り方をしていきたい」と畠山委員長は将来を見据える。

素早く復興に向かう

震災前は1200人も組合員がいた大所帯。いち早く復興に向け動き出した。畠山委員長は「ここまではこれからは、国、県、市の支援はもとより、ボランティアや全国の三陸力キのファンの方々の応援、広島県やフランスからの筏や資材の支援など、皆さんのおかげ」と何度も感謝。

青年・女性部も活躍

昨年度の農林水産祭で青年部の力キ学習支援が天皇杯の栄誉に輝いた。女性部も県の代表として全国大会に進んでいる。かつて畠山委員長自身が唐桑小学校の児童に力キ養殖の指導を始めた。子供たちの突拍子もない質問に答えるためにはそれなりの知識も必要で、それに見合った力キを作らなくてはならない。子供たちから教わる部分も

「唐桑」発信に注力

今後は唐桑もののおいしさ、品質をどのように発信するかが課題。手段の一つとして漁業者が始めた力キ小屋「唐桑番屋」はSNSでファンが広がっている。「三陸特選市場」というサイトも立ち上げ積極的にPR。職員も、販路開拓の研修会、物産展や商談会などに参加。どの魚種、誰のものを売っても極上といえる「唐桑ブランド」をよりしっかり確立していきたいと考えている。

日本一の唐桑ブランドを確立

出来たて海の幸PR キッチンカーが大活躍

サッカー観戦や温泉客に場所も料理も幅が広がる

東京・自民党本部前 みやぎ復興応援フェア



キッチンカーで出来たてを提供、宮城の海の幸をPRした「みやぎ復興応援フェア」(4月5日、自民党本部前)

かき汁、蒸しホヤ人気

当組合では4月5日、県・JAグループ宮城・県森林組合連合会とともに、東京・永田町の自民党本部前で「みやぎ復興応援フェア」に参加。支援へのお礼も兼ね、宮城の旬の農林水産物をPRしました。導入したばかりのキッチンカーも出動し、調理したてのかき汁や蒸しホヤなどを無料で提供。各150食が約30分で品切れするなど人気を博しました。

ベガルタ仙台の試合の日はスタジアムで蒸しホヤやホヤメンチ、カキフライのほか、カキやホヤ入りのカレーを提供。鳴子温泉の宿泊客にも、海の香りを届ける予定です。

キッチンカーが駆けつける 夏から秋の県内のイベント

イベント名	開催日	開催場所
ベガルタ	7/30, 8/13, 9/9 9/30, 10/21	ユアテックスタジアム
鳴子ふるまい	9/30～10/1	鳴子
みやぎまるごとフェスティバル	10/14～15	県庁前市民広場